

一人ひとりが尊重される地域社会の構築

1 目指す姿

目指す姿	平和の大切さや尊さが継承され、一人ひとりの人権が尊重されるとともに、社会の一員としてあらゆることに参加でき、誰もが安心して暮らしています。
------	---

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

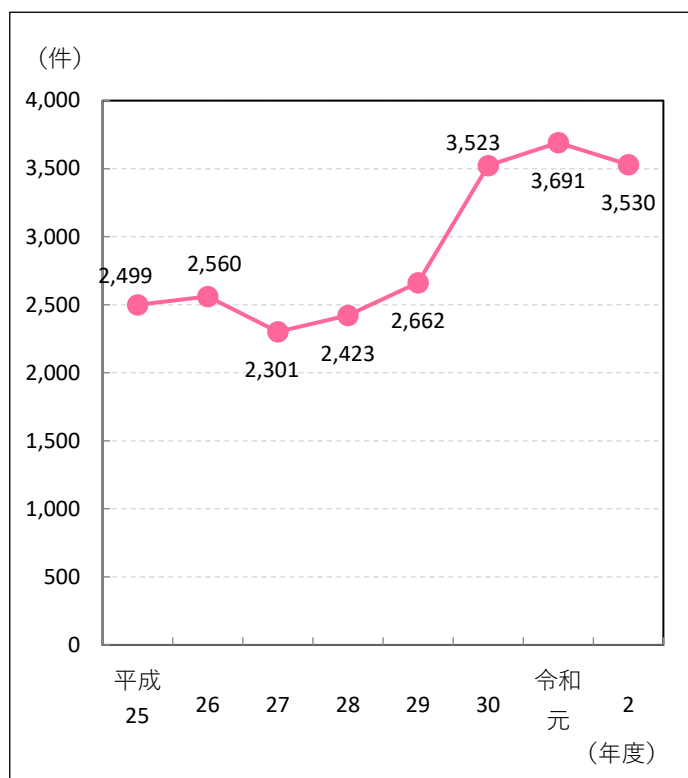
（1）平和・人権意識の醸成	
<主な事業名・取組> ➤平和推進 - 平和展の会場に南大沢会場を追加し3会場で実施（平成28年度～） - 平和展で私立高等学校や市内小学校と連携した学習レポート等の展示（平成29年度） - 戦跡マップを作成（平成30年度） <今後の課題> - 高齢化し、減少していく戦争体験者の証言を次世代へ継承する取組の充実とともに、平和学習（啓発推進）コンテンツとしての拡充	
（2）誰もが平等に安心して暮らせる社会の推進	
<主な事業名・取組> ➤成年後見支援 - 法人後見制度の運用を開始（令和2年度～） <今後の課題> - 権利擁護支援が必要な人が、成年後見制度等を利用しやすい環境を整備	
（3）男女共同参画社会の推進	
<主な事業名・取組> ➤男女共同参画の推進 - 男女共同参画に関する啓発講座を実施（平成25年度以前） <今後の課題> - 固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）にとらわれない、誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現 - 市民・事業者・地域等との男女共同参画社会の実現に向けた連携 - 多様で柔軟な働き方が可能となる職場環境の整備や、ワークライフバランスの推進	

3 施策に対する指標

指標			設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標					令和4年度	
①	平和に関する事業への参加者数	↑	6,090人/年	7,101人/年	10,000人/年	25.9
			(平成24年度)	(令和2年度)		
②	仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を実現している市民の割合	↑	17.8%	46.8%	43%	115.1
			(平成24年度)	(令和2年度)		

■ データ

男女共同参画センターにおける女性のための相談件数



暮らしの相談・支援の充実

1 目指す姿

目指す姿

消費生活・法律・福祉などの市民の日常生活における相談体制や支援が充実し、誰にでも分かりやすい情報が適切に提供され、誰もが安心して暮らしています。

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（1）暮らしの相談・支援の充実

＜主な事業名・取組＞

➤生活相談、生活困窮者の自立支援、斎場運営、霊園管理

- ・生活困窮者自立支援法施行により自立相談支援事業等を実施（平成27年度～）
- ・斎場の業務日程を拡大（友引日の使用）（平成28年度～）
- ・家計改善支援事業を実施（平成28年度～）
- ・生活困窮者相談窓口の拡大（八王子駅南口総合事務所、南大沢事務所）（平成29年度～）

＜今後の課題＞

- ・高齢化の進行、単身世帯の増加などによる地域コミュニティの希薄化、外国人市民への対応など多様化する相談内容に応じた体制づくり
- ・複合化、複雑化した相談を包括的に受け止める重層的支援体制を充実

（2）誰にでも分かりやすい情報提供

＜主な取組＞

- ・外国人向け情報誌「G i n k g o」の発行（平成25年度以前）
- ・英語・中国語による公式Facebookページを開設（令和2年度～）

＜今後の課題＞

- ・主要な言語を中心としてできる限り多言語化に取り組むとともに、「やさしい日本語」の普及と活用を推進するなど効果的な情報の発信

（3）安全・安心な消費生活の推進

＜主な事業名・取組＞

➤消費生活対策

- ・高齢者の消費者被害未然防止及び対処法等の啓発講座や見守り講座を開催（平成25年度～）
- ・中学生及び小学生向け消費者教育副読本の作成・配布（平成29年度～）

＜今後の課題＞

- ・成年年齢引下げに伴い若者の消費生活に関する意識を高める取組が必要
- ・デジタル化の進展や電子取引の拡大、自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大など社会情勢の変化に対応した消費生活の啓発・教育の推進

（4）外国人市民への支援

＜主な事業名・取組＞

➤多文化共生の推進

- ・在住外国人サポートデスクの拡充（令和元年度）
- ・タブレット端末を利用したテレビ電話通訳システムを導入（令和2年度）

＜今後の課題＞

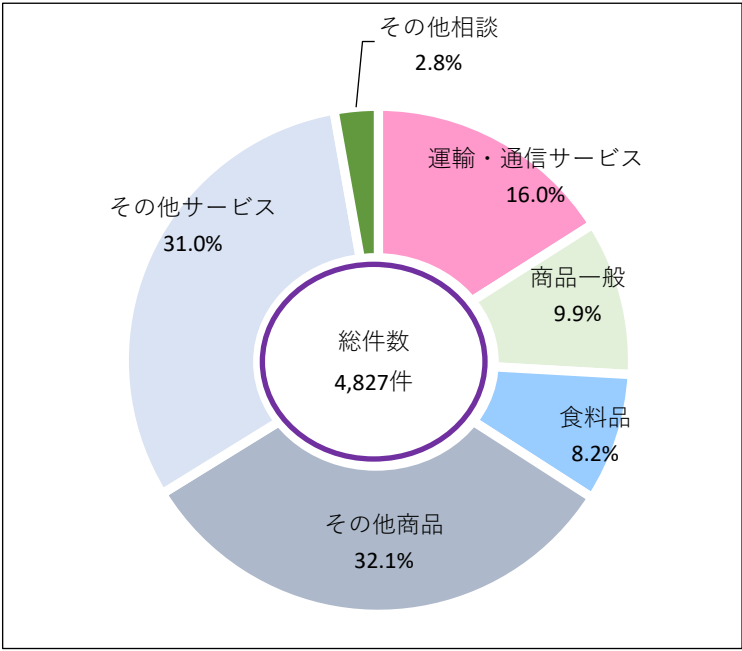
- ・外国人留学生全体の生活支援と地域活動への参加促進

3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	相談の機会が充実していると感じている市民の割合	↑	51.1% (平成23年度)	51.0% (令和2年度)	60%	－
②	生活困窮者の新規相談受付件数	↑	1,140件 (平成28年度)	2,235件 (令和2年度)	1,500件	304.2

■ データ

消費生活相談の内容内訳（令和2年度）



社会保障制度の適正な運用

1 目指す姿

目指す姿 社会保障制度が理解され、健全に運営されることにより、市民が安心して暮らしています。

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（1）介護保険

<主な取組>

- ・介護保険制度の安定性・持続可能性の確保
- ・自立支援・重度化防止に向けた介護予防・健康づくり等の取組の推進

<今後の課題>

- ・地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステム構築の推進
- ・介護人材の確保・定着・育成の取組を進めるとともにICTの活用やデジタル化を推進

（2）高齢者の医療制度

<主な取組>

- ・東京都後期高齢者医療広域連合と連携した事務の実施

<今後の課題>

- ・医療費の適正化及び健康寿命の延伸に繋がる効果的な保健事業の展開

（3）国民健康保険

<主な取組>

- ・適正受診・服薬推進事業などによる医療費適正化の推進
- ・国民健康保険運営の広域化（平成30年度）

<今後の課題>

- ・一般会計からの決算補填等目的の法定外繰入金の解消
- ・医療費の適正化及び健康寿命の延伸に繋がる効果的な保健事業の展開

（4）国民年金

<主な取組>

➤国民年金事務

- ・国と協力・連携した、適正かつ円滑な事務の実施

<今後の課題>

- ・被保険者の身近な窓口として、障害年金等に係るきめ細かな相談の継続実施

（5）生活保護

<主な事業名・取組>

➤生活保護法による扶助、セーフティネット支援対策等実施推進

- ・就労準備支援事業を開始（平成27年度～）
- ・生活保護被保護者の金銭管理支援を開始（平成28年度～）
- ・生活保護被保護者の家計相談支援を開始（令和元年度～）

<今後の課題>

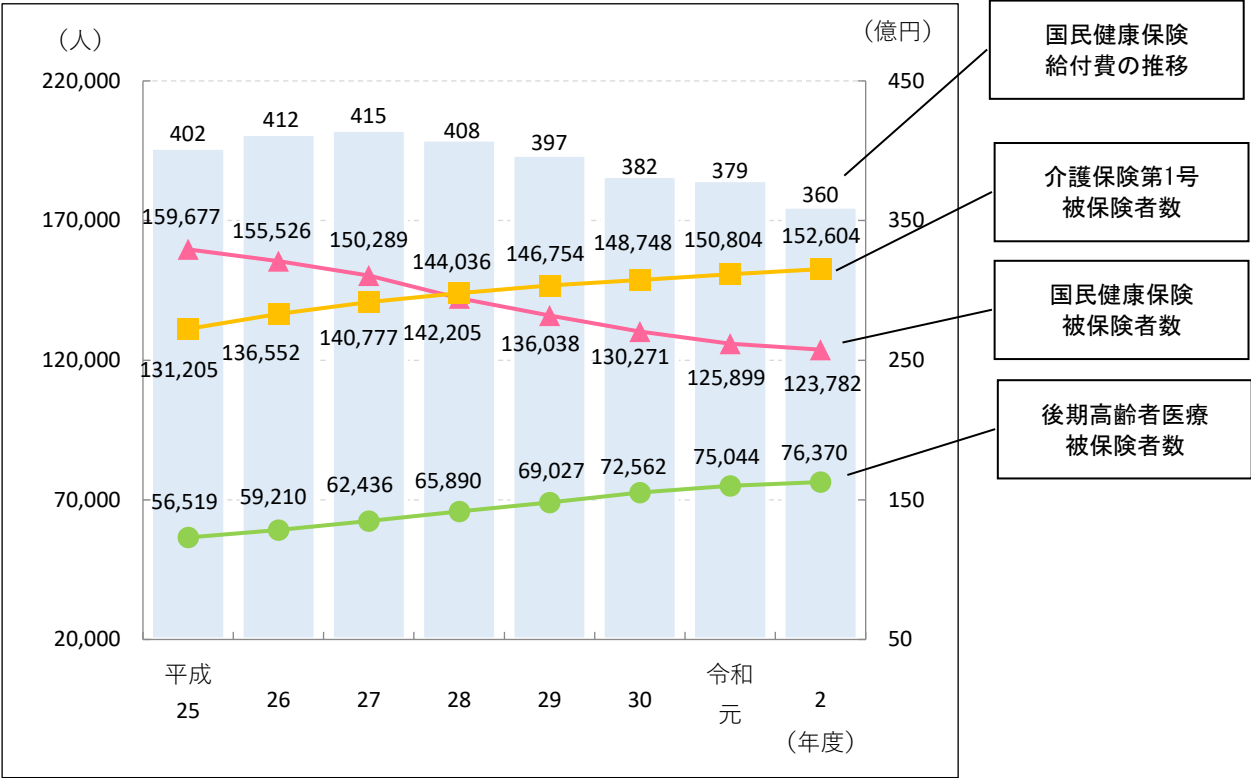
- ・就労支援事業による就労率向上

3 施策に対する指標

指標			設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標					令和4年度	
①	就労による保護廃止世帯数	↑	149 世帯/年	73 世帯/年	150 世帯/年	-
			(平成28年度)	(令和2年度)		

■ データ

各被保険者数と国民健康保険給付費



人とひととが支えあう地域福祉の推進

1 目指す姿

目指す姿	地域の幅広い世代の様々な人々が交流し、人とひととのつながりが育まれています。地域で支えあう地域福祉が浸透し、高齢者をはじめとした誰もが社会の一員として生き活きと安心して暮らしています。
------	--

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）地域で支えあう意識の醸成と参加のきっかけづくり	
＜主な事業名・取組＞ ➤社会福祉審議会の運営 ・社会福祉審議会を設置（平成27年度） ＜今後の課題＞ ・地域づくりを推進することで、様々な人の交流や支えあいの意識を醸成	
（２）地域で支えあう人材の育成・支援	
＜主な事業名・取組＞ ➤社会福祉委員等の活動 ・民生委員・児童委員のPR活動の実施（平成25年度以前） ＜今後の課題＞ ・身近な相談相手となり、市民と行政機関等とをつなぐ民生委員・児童委員など、地域での支えあいの核となる担い手の確保が必要	
（３）地域で支えあう仕組みの充実	
＜主な事業名・取組＞ ➤地域福祉計画の推進、社会福祉協議会補助金、社会参加と生きがいづくり ・地域福祉推進拠点の整備（平成26年度～） ・高齢者ボランティア・ポイント制度における表彰制度の新設（平成30年度） ・包括的な地域福祉ネットワーク会議を設置（令和元年度） ＜今後の課題＞ ・ひきこもり、8050問題、ヤングケアラーなど地域での複雑・困難化する課題に対して、重層的な支援によるしきみを充実 ・withコロナ時代の社会参加を通じた生きがいづくりを更に推進するため、ボランティア・ポイント手帳の電子化などデジタル技術を活用 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域での交流の場の減少やボランティア活動の休止が続いており、地域活動における新たな仕組みの構築	

3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
					令和4年度	
①	地域での交流や活動を通して生きがいを感じている高齢者の割合	↑	43.3%	46.1%	60%	16.8
			(平成23年度)	(令和2年度)		
②	近所に相談相手がいる市民の割合	↑	16.7%	15.1%	30%	－
			(平成23年度)	(令和2年度)		
③	高齢者ボランティア・ポイント制度登録者数	↑	2,288人	2,616人	3,600人	25.0
			(平成28年度)	(令和2年度)		

障害者への支援

1 目指す姿

目指す姿	障害者とその家族を支援する体制が充実し、地域住民と障害者がともに支えあいながら住み慣れた地域で生き活きと暮らしています。
------	--

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

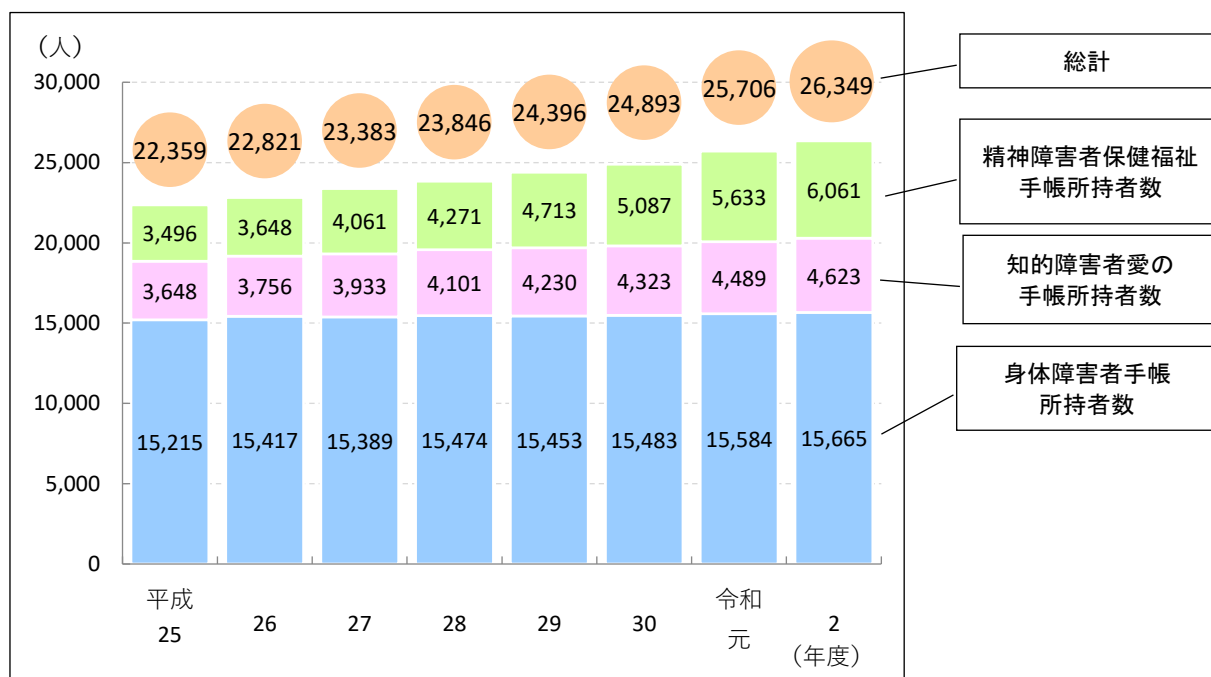
（1）自立支援の充実	
＜主な事業名・取組＞ ➤障害者自立支援、相談・情報提供、障害児支援 ・障害者就労・生活支援センターの相談体制強化（平成27年度） ・障害者地域生活拠点事業を実施（平成28年度～） ・障害のある人を理解するためのガイドブック「みんなちがってみんないい（小学生版）」を作成（平成28年度） ・「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」を改正（平成28年度・令和2年度） ・児童発達支援センター整備の補助（平成29年度） ＜今後の課題＞ ・「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」に基づき、障害者への差別や偏見を解消するため、障害者サポーター養成講座等により、継続した周知・啓発の取組が必要 ・障害者の高齢化や障害の重度化などに関わらず、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域生活の充実など更なる支援が必要	
（2）社会参加の促進	
＜主な事業名・取組＞ ➤社会参加の促進、身体障害者手帳の交付 ・市内障害者施設の製品やサービスを取りまとめた「しごとカタログ」を市内企業等に配布（平成27年度） ・障害者支援企業等表彰制度を創設（平成28年度） ・地域生活支援事業における移動支援の対象を中学生まで拡大（令和元年度） ・身体障害者手帳にカード様式を追加（令和2年度～） ＜今後の課題＞ ・障害特性に応じた活躍の場を創出し、生きがいきりや就労支援などの障害者の社会参加の促進	

3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	障害者に対して理解や配慮をしている市民の割合	↑	27.0% (平成22年度)	66.7% (令和2年度)	80%	74.9
②	障害者が外出した際の満足度	↑	69.6% (平成23年度)	72.4% (令和2年度)	80%	26.9

■データ

障害種別ごとの障害者数



高齢者への支援

1 目指す姿

目指す姿	支援を必要とする高齢者とその家族が保健・医療・福祉などの関係機関の連携のもと、住み慣れた地域で健康で安心して暮らし続けています。
------	--

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

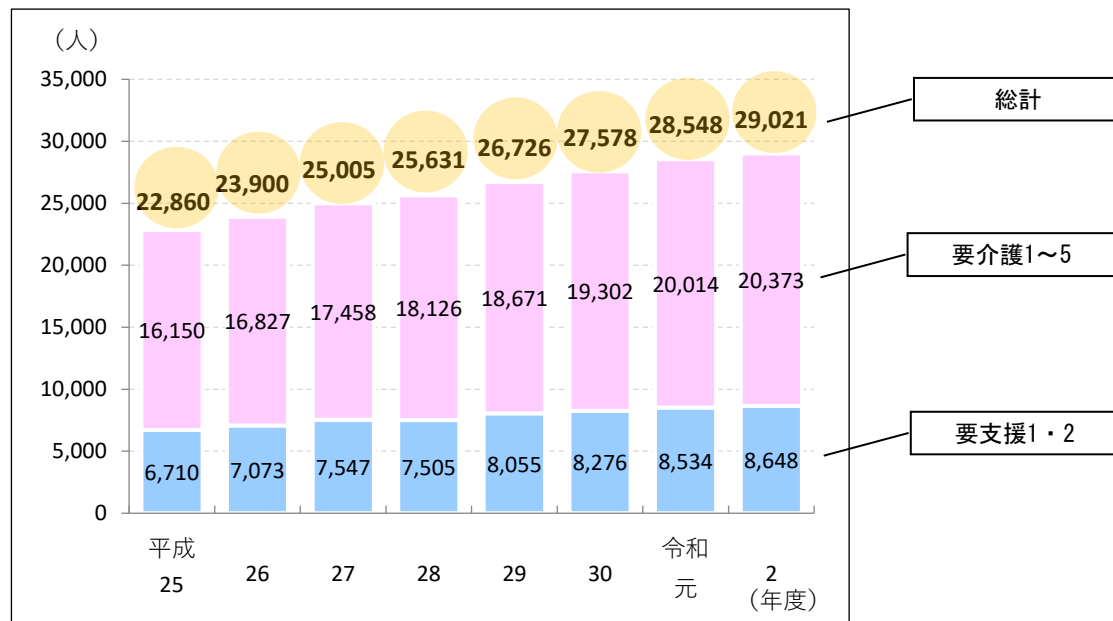
（１）地域で自分らしく安心して暮らすための支援の充実	
＜主な事業名・取組＞ ➤介護保険事業、介護予防・生活支援サービス、一般介護予防、包括的支援事業 ・認知症初期集中支援事業を開始（平成28年度～） ＜今後の課題＞ ・介護予防や健康づくりの推進（健康寿命の延伸）、保険者機能の強化、地域包括ケアシステムの推進、認知症施策の総合的推進など、超高齢社会を見据えた、持続可能な制度の構築	
（２）在宅・施設サービスの充実	
＜主な事業名・取組＞ ➤人材の確保・定着・育成、高齢者在宅生活支援サービス、介護保険施設等の整備促進 ・介護人材の確保・定着・育成研修を実施（平成25年度～） ・高齢者見守り相談窓口を開設（平成25～29年度） ・高齢者あんしん相談センターの整備・移転（平成28年度～） ・在宅医療相談窓口を設置（平成28年度） ＜今後の課題＞ ・地域包括ケアシステムを強化するため、高齢者あんしん相談センターについて、市民の利便性と認知度向上のための事業展開が必要 ・介護や療養が必要となっても住み慣れた地域で最期まで生活できるよう、在宅医療を支える体制強化が必要	

3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
					令和4年度	
①	介護保険サービス利用者の満足度	↑	82.8%	81.2%	85%以上	-
			(平成23年度)	(令和元年度)		
②	高齢者あんしん相談センターの認知度	↑	36.4%	50.7%	80%	32.8
			(平成23年度)	(令和2年度)		
③	高齢者あんしん相談センターに寄せられた相談件数	↑	74,414件	105,042件	100,000件	119.7
			(平成28年度)	(令和2年度)		

■ データ

要支援・要介護認定者数



健康の維持・増進

1 目指す姿

目指す姿

健康であることの大切さを誰もが意識し、子どもの頃から生涯を通じて自ら健康づくりに取り組むことで、健康で安心して暮らしています。

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（1）健康づくりの推進

＜主な事業名・取組＞

➤いきいき健康づくり、食育の推進、受動喫煙対策の推進

- ・健康づくりサポーター制度を開始（平成27年度～）
- ・大学と連携した健康づくり・食育の推進事業を開始（令和元年度～）
- ・受動喫煙防止のため市施設に屋外喫煙所を整備（令和元年度）

＜今後の課題＞

- ・健康づくりサポーターの養成や支援、大学等との連携により、地域での健康づくりを推進できる人材の確保
- ・個人の健康づくりを支える仕組みづくりとして、市民活動団体、民間事業者との協働により、対象者の健康関心度に合わせた、適切な情報発信の仕組みづくり

（2）疾病予防対策の推進

＜主な事業名・取組＞

➤予防接種、健診・検診の推進、特定健康診査・特定保健指導・健康診査、生活習慣病重症化予防

- ・定期予防接種における南多摩5市の医療機関で受けられる相互乗り入れを開始（平成27年度～）
- ・大腸がん検診受診率・精密検査受診率向上における成果報酬型官民連携モデル事業（SIB）を実施（平成29～令和元年度）

＜今後の課題＞

- ・市民の健康寿命延伸のため、がん検診事業における受診率向上による成果連動型委託契約の活用可能性の検討
- ・各種データを分析し、効果的な受診勧奨による、特定健康診査の受診率向上
- ・年齢別受診率から対象者を見直し、より効果的な受診勧奨による、歯と口腔・歯周病検診率向上

（3）母子保健の充実

＜主な事業名・取組＞

➤母子保健

- ・八王子版ネウボラ（妊婦面談の実施）を開始（平成28年度～）
- ・子育て世代包括支援センターを市内6か所の子ども家庭支援センターと3か所の保健福祉センターに設置（平成29年度）

＜今後の課題＞

- ・妊婦面談の機会を確保するため、普及啓発と共にオンライン面談を導入するなど、八王子版ネウボラ（妊娠期からの切れ目のない支援）の充実
- ・妊婦歯科健診は就労している妊婦も多く、また新型コロナウイルス拡大の影響もあり受診率が低いことから、受診しやすい仕組みを構築

3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	健康維持・増進を心掛けている市民の割合	↑	85.5% (平成23年度)	89.2% (令和2年度)	95%	38.9
②	特定健康診査受診率	↑	45.9% (平成23年度)	39.6% (令和2年度)	60%以上	-
③	健康づくりサポーター登録者数	↑	64名 (平成28年度)	137名 (令和2年度)	120名	130.4
④	妊婦面談率	↑	66.1% (平成28年度)	95.7% (令和2年度)	100%	87.3

保健衛生の充実

1 目指す姿

目指す姿	地域に密着した保健サービスが提供され、専門性の高い保健対策や公衆衛生の向上がはかれることで、誰もが安心して暮らしています。
------	---

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

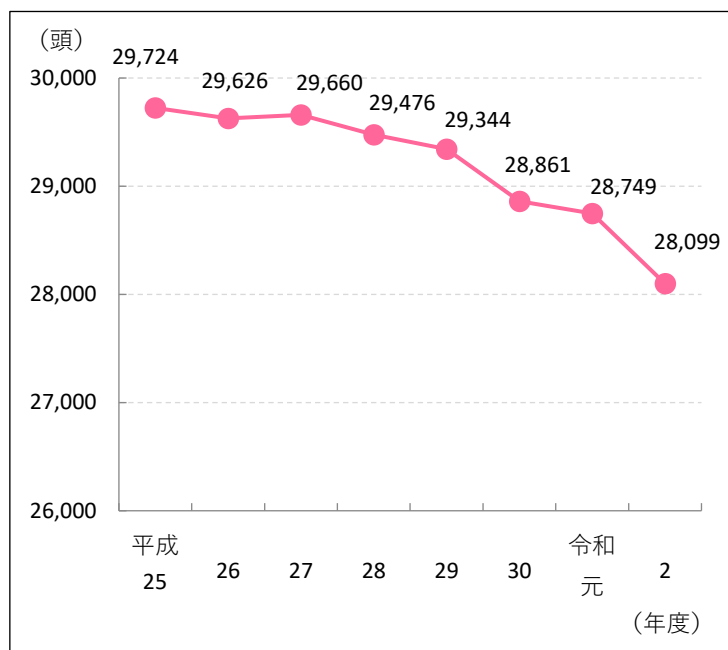
（1）専門性の高い保健対策の推進	
＜主な事業名・取組＞	➤精神保健対策、感染症対策 ・「自殺対策計画」を策定し（平成30年度）、身近なゲートキーパー養成講習等を実施（令和元年度） ・新型コロナウイルス感染症対策を実施（令和2年度） ＜今後の課題＞ ・健康危機管理への迅速な対応を行うため、感染症や予防対策に対する知識、技術の向上など専門性を高めた人材の確保及び育成 ・新たな感染症に備えるための組織体制強化や東京都や近隣市などとの広域連携体制の強化
（2）生活衛生の充実	
＜主な事業名・取組＞	➤生活衛生に関する監視と指導、狂犬病予防及び動物愛護・管理 ・「動物の愛護及び管理に関する条例」を制定（平成27年度） ・HACCP（ハサップ：危害要因分析重要管理点）による衛生管理の制度化（平成30年度） ＜今後の課題＞ ・食品衛生法改正によりHACCPによる衛生管理、食品ごとの特性や事業者の状況等を踏まえ、業態別の講習会開催や監視指導等を通じた普及啓発による食中毒発生の防止 ・人と動物との調和のとれた共生社会の実現を図るため、産官学民が連携して取組める動物行政の拠点の確保
（3）保健行政の推進	
＜主な事業名・取組＞	➤保健所管理運営 ・「保健医療計画」を策定（平成29年度） ＜今後の課題＞ ・東京都立多摩産業交流センターの複合施設として八王子保健所を整備するとともに、保健所と各保健福祉センターの役割を整理した、地域医療との連携強化

3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
					令和4年度	
①	結核罹患率	↓	16.2人/ 10万人・年 (平成23年度)	7.8人/ 10万人・年 (令和2年度)	9.9人/ 10万人・年	133.3
②	食中毒発生件数	↓	3件/年 (平成23年度)	5件/年 (令和2年度)	0件/年	-

■データ

犬の登録数



地域医療の充実

1 目指す姿

目指す姿

ライフステージごとの必要な医療サービスと医療・介護・リハビリの一貫した体制が整い、医療への不安が解消され、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしています。

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（1）地域医療体制の充実

<主な事業名・取組>

➤地域医療体制整備、看護専門学校運営

- ・医療安全支援センターを設置（平成24年度）
- ・口腔保健支援センターを設置（平成28年度）
- ・市立看護専門学校生への在学費の一部を助成（平成29年度）
- ・障害者歯科診療所の診療日を拡充（平成30年度）
- ・高等教育の修学支援制度を導入（令和2年度）

➤新型コロナウイルス感染症対策

八王子市医師会や医療機関と連携（令和2年度）

- ・コロナ患者市内宿泊療養施設運営（都と共同）
- ・PCR外来設置
- ・感染症対策専門家によるWEBセミナー開催
- ・市内医療機関との地域連携WEB会議開催
- ・医療機関への助成金等支給

<今後の課題>

- ・「医療連携ネットワーク事業実施協定」に基づく医師会との連携強化による、かかりつけ医を持つことの意義を普及・啓発
- ・増加する高齢者に対応できる地域医療体制を整備

（2）救急医療の充実

<主な事業名・取組>

➤救急医療、自動体外式除細動器（AED）配備

- ・AED空白地域へのAED配備を開始（令和2年度～）

<今後の課題>

- ・本市を含む多摩西南部地域における小児医療体制の維持・充実

（3）在宅医療と介護の連携

<主な事業名・取組>

- ・在宅医療相談窓口を設置（平成28年度）
- ・在宅療養患者搬送事業費及び在宅医療支援システム運営費に係る補助金を創設（平成29年度）

<今後の課題>

- ・住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせるよう、介護との連携を推進し、在宅医療・介護を支える体制を強化

3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	かかりつけ医を決めている市民の割合	↑	75.3% (平成23年度)	81.6% (令和2年度)	85%	64.9
②	中核病院新規外来患者数における紹介率	↑	74.6% (平成28年度)	87.7% (令和2年度)	80%	242.6

■データ

中核病院におけるかかりつけ医からの紹介者の受入れ率

